

職業リハビリテーション

Vocational Rehabilitation

職業リハビリテーションは、障害のある方に対して相談・指導、訓練、職業紹介、その他を実施して、就業の場を得、さらにそれを継続するための支援を行うものです。また、職業リハビリテーションはそれ単独で独立したものではなく、医学的、社会的、教育的リハビリテーションと密接に関係した総合リハビリテーションの一過程として存在するものと考えます。

本特集では、職業リハビリテーションの総論について解説いただいたのち、各障害分野のエキスパートに現状と課題、具体的な支援方法などを詳述していただきました。

職業リハビリテーションの視点と課題 松為信雄氏 679

職業リハビリテーションの新たな定義と支援モデルを提唱し、ポイントとなるキーワードを解説いただいた。そのうえで、就労支援に関する現状の制度と企業の対応、および今後の課題に言及されている。

身体障害 横山修氏ら 685

身体障害者の就労支援や就労継続では、疾患や合併症の健康管理、作業環境の調整、職場との調整が重要である。在宅就労のアプローチについても、頸髄損傷による四肢麻痺者の症例を通して具体的に紹介している。

視覚障害 指田忠司氏 691

視覚障害者では三療の従事者が現在も多数を占めるが、事務系職種や運輸業などにもかなりの数が就職している。業務拡大・変化の契機として、①制度的バリアの見直し、②支援技術の開発、③技能の向上の3点を挙げることができる。

精神障害 相澤欽一氏 699

精神障害者の就職件数が急激に増加している。その背景には雇用施策の充実があるが、一方で職場定着が大きな課題となっている。精神障害者における精神科医療と就労支援との連携の重要性を強調している。

発達障害 柴田珠里氏 705

発達障害の就労支援において想定される対象像、支援に至る契機の違いによる課題、支援の実際などを解説いただいた。豊富な支援経験に基づいたさまざまな視点が盛り込まれており、参考になる。

高次脳機能障害 小田芳幸氏ら 711

高次脳機能障害のある中途障害者が就労を継続していくためには、本人と職場の双方の理解と支援が必要である。著者らの就労移行支援施設での実際のデータを示しながら支援プロセスを解説した。

ニュース	支援学校 3,400 教室足りない 704
	福祉施設の労災 8,281 人—全産業では 11 万人超に増, 2016 年の死傷災害 704
	「あなたに合う競技は」ウェブで診断, チーム検索も—日本財団パラサポセンター 710
	特別支援学校, 親が付き添い 66%—医療的ケア必要な子に (文部科学省) 716
書評	肢体不自由児の通級指導教室設置—担当教員が学校巡回, 授業支援 (静岡市教育委員会) 721
	障害者向けに農業体験—社会参加や就労に活用 (新潟市) 734
	「ベビーカーと間違わないで」, バギーは子供の車椅子—母親らマークで周知 755
	カスタマイズしよう, 働く精神障害者の合理的配慮—リカバリー隊が解説書 761
お知らせ	「ノーマライゼーション 障害者の福祉」5 月号・特集目次 761
	発達障害のリハビリテーション—多職種アプローチの実際 (評者: 本田真美) 710
	健康格差社会への処方箋 (評者: 根本明宜) 746
	第 4 回日本栄養材形状機能研究会学術集会 715
	第 46 回日本リハビリテーション工学協会車いす SIG 講習会 in 神戸 716
	東京都パラリンピック選手発掘プログラム 750
	第 5 回全国介護・終末期リハ・ケア研究会研究大会 in 愛知 761
	CRASEED セミナー 767
	東京臨床理学療法研究会第 18 回研究会 767